

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ホープフルSはドゥラエレーデが優勝

2022年12月28日(水)に行われたホープフルS(G I)ではドゥラエレーデ(牡2歳/栗東・池添学厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。池添調教師ならびに鞍上のパウルジャン・ムルザバエフ騎手(ドイツ)にとっても初のJRA・G I制覇となります。

●植野貴也騎手が引退

植野貴也騎手(栗東・フリー)は、2022年12月31日(土)をもって引退しました。JRA通算成績は3506戦242勝で、今後は栗東・中竹和也厩舎で調教助手となる予定です。

●2022年度JRAリーディングが決定

2022年、計143勝をあげた川田将雅騎手(栗東・フリー)が自身初となるJRAリーディングジョッキーに輝きました。なお川田騎手はJRA最高勝率騎手、JRA最多賞金獲得騎手のタイトルも獲得し、岡部幸雄元騎手、武豊騎手、C.ルメール騎手に続く4人目の「騎手大賞」受賞者となりました。またJRAリーディングトレーナーは、年間59勝をあげた矢作芳人調教師(栗東)となりました。

●オメガパフューム、サンライズノヴァらの競走馬登録抹消

2018年~2021年東京大賞典(大井・G I)4連覇などの成績を残したオメガパフューム(牡7歳/栗東・安田翔伍厩舎/JRA通算13戦6勝・地方13戦5勝)、2019年マイルチャンピオンシップ南部杯(盛岡・Jpn I)などの勝ち馬サンライズノヴァ(牡8歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算32戦9勝・地方11戦1勝)、2020年函館記念(G III)の勝ち馬アドマイヤジャスタ(牡6歳/栗東・石坂公一厩舎/JRA通算24戦3勝)、2017年東京ジャンプS(J・G III)の勝ち馬シンキングダンサー(騊9歳/美浦・武市康男厩舎/JRA通算45戦5勝)、2021年函館スプリントS(G III)などの勝ち馬ピアンフェ(騊5歳/栗東・中竹和也厩舎/JRA通算16戦4勝)は、2022年12月7日(水)までに競走馬登録を抹消されました。オメガパフュームは北海道新ひだか町のレックススタッド、サンライズノヴァは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、アドマイヤジャスタは北海道安平町のノーザンファーム、ピアンフェは栗東トレーニング・センターで乗馬となる予定。シンキングダンサーは地方・高知競馬に移籍しています(年齢は抹消時)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●東京大賞典(大井)は重賞初挑戦のウシュバテソーロ

東京大賞典(G I、12月29日、大井、2000^米)は、中団から外を通過して追い上げた2番人気のウシュバテソーロ(横山和生騎手、牡・出走時5歳、父オルフェーヴル)がゴール前200^米地点で抜け出し、ノットウルノに1馬身3/4差を付けて重賞初挑戦でG I制覇。1番人気に推されたメイショウハリオは更に2馬身半遅れの3着、3番人気のサンライズホープは4着、逃げたショウナンナデシコは6着、レッドガランは12着に敗れました。

●東京大賞典の1レース、1日の売上は前年割れも史上2位

東京大賞典の売上は、前年比90.2%の62億7471万1900円でした。また、当日の12月29日の売上は、前年比98.6%の102億9934万9370円で、うちJRAネット投票は47億1088万5700円と、全体の45.7%を占めています。

●2022年地方競馬リーディングは打越勇児調教師、吉村智洋騎手

2022年の地方競馬リーディングは、トレーナーが208勝で打越勇児調教師(高知)、ジョッキーは349勝の吉村智洋騎手(兵庫)でした。また、地方競馬リーディングサイヤー(総合)は、エスポワールシチーが初めてランキング首位となりました。主な活躍馬は、名古屋グランプリの覇者ペイシャエス(JRA)、黒船賞とかきつばた記念を制したイグナイター(兵庫)です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1マリブS~テイバが3つ目のG1制覇

2022年12月26日に米国カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で行われたG1マリブS(3歳、ダート1400^米)は、単勝1.4倍の1番人気に推されたテイバ(牡3歳、父ガンランナー、B.パファート厩舎)がM.スミス騎手に強く促されての先行策から直線で抜け出して4馬身1/4差で優勝しました。テイバは今年3月のデビューから2連勝でG1サンタアニタダービー(ダート1800^米)を制覇。続くG1ケンタッキーダービー12着、G1ハスケルS2着を経て、9月にはG1ペンシルベニアダービー(ダート1800^米)を3馬身差で快勝しました。その後、初めて古馬と対戦した前走のG1BCクラシックはフライトラインの3着でしたが、再び3歳限定戦に戻ったここで3つ目のG1タイトルを手に入れました。なお、パファート厩舎はこの日のサンタアニタパーク競馬場でG1マリブSのほか、G1ラブリアS(3歳牝、ダート1400^米)をファントウドリーム(牝3歳、父アロゲート)、G2サンアントニオS(3歳上、ダート1700^米)をカントリーグラマー(牡5歳、父トーナリスト)で優勝するなど計5勝を記録しています。